

いわき市における救援活動(原発関係者分) — (独) 航海訓練所 練習船海王丸 —

○救援活動の概要

船内で食事、入浴、宿泊等を提供。21日～26日朝の受入累計159名。

* 食事、入浴により、リフレッシュできている模様。

* インターネット、新聞等の利用、「海王丸絵はがき」による家族との連絡により、笑顔を取り戻し、翌朝には海王丸乗組員に見送られ、元気な顔で作業に向かっている。

* 乗船前にスクリーニング、除染を実施している。

* 船内各所で放射線量を定期的に測定しており、異状はない。

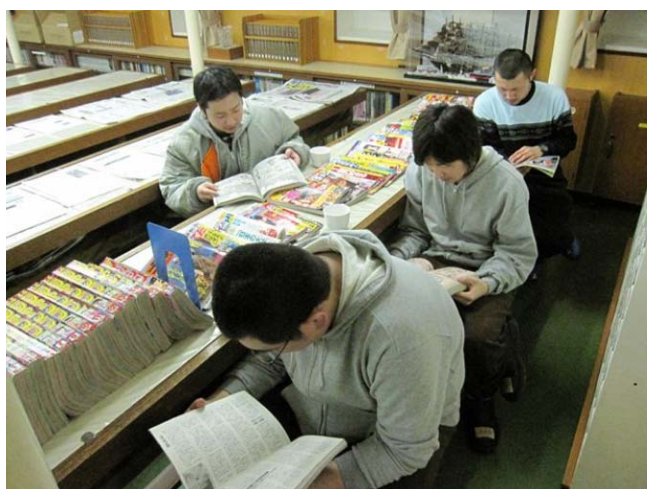
なお、被災者に対し21日から炊き出し等を実施。25日までの累計327名。26日は50名に対して炊き出しを実施予定。



写真① 乗船前の放射線検査と報道の様子



写真② 緊張から解放された食事での笑顔



写真③ 新聞、雑誌を読んでくつろぐ原発関係者



写真④ 原発関係者を拍手で見送る乗組員

問い合わせ先

国土交通省海事局海技課船員教育室

海技企画官 阪本 (内線 45-175)